

西建協だより

283号

2018年
2月

西

除雪への思い

東日本建設業保証(株)新宿支店長 植 草 陽 一

今年は何年にもなく寒波の厳しい冬となっており、日本海側の動脈である国道八号線も通行止めとなる等、地元建設企業による懸命な除雪作業が続けられています。

北陸では昭和三十八年、五十六年に豪雪があり十八年周期説が唱えられ、今回の豪雪も概ねその周期では無いかと言われています。

私自身も新潟赴任時代に同様の光景を目の当りにし、また生活道の除雪ボランティアにも参加した経験から、除雪・排雪の大変さを改めて思い起こしました。

北陸では降雪期前に除雪基地の開所式があり、土木事務所も参加して安全な除雪作業を祈願します。また豪雪期には待機所に知事や市町村長が激励に訪問することもあります。

これら一連の対応は概ね国道・県道・市道等の除雪作業を対象としたものです。

一方、生活道や歩道の除雪は大

半が地元ボランティアに委ねられています。

歩道の除雪が為されていないと住民も車道を歩く事となり交通事故等の危険が高まります。

今回、西多摩地区の除雪作業でもこうした背景から組合員の方々によって通学路



を中心とした手作業による歩道除雪が重点的に実施され、通学児童の安全が確保されました。

最近ではGPSを搭載した除雪車等も登場し機材の近代化が進んでいます。地域を守るための除雪要員は待機から深夜早朝に至るまで長時間にわたって除雪作業を続けており代替の利かない重要な役割を担っていただいております。

予想される大規模災害に向けた体制の強化が望まれるところです。

こうした厳しい作業環境を支援するべく、多摩地区でも北陸に見られるように官民一体となった除雪や今後の体制の強化が望まれるところです。

平成30年1月22日に、音もなく昼間から降る雪はみるみる積り、30cm前後の積雪がありました。すぐに交通機関に影響を及ぼし大寒波と重なり街中でもなかなか雪の姿が消えず、除雪は数日間続きました。

西多摩建設業協同組合員の各社は直ちに対策チームを立ち上げ西多摩建設事務所をはじめ各市町村の指示の下、除雪を行いました。

翌朝の通勤通学時間帯には全線で開通する事が出来ました。

23区内では通行止め区間が残っているようでしたが、西多摩地区においては、翌朝の通勤通学時間帯には全線で開通する事が出来ました。

このような災害時でも全力で取組んでいる道路管理者や地元建設会社の方々に誇りに思います。

西建協 広報委員会広報部



《特集》

一級土木施工管理技士 合格者 インタビュー

- ・所属会社 高木建設(株)
- ・氏名 高木 正憲
- ・年齢 三十九歳
- ・経験年数 十七年
- ・得意業務 一般土木全般

◎資格取得のために行った勉強方法、試験時に苦労した点は

試験の問題を解答するにあたり、普段の仕事ではあまり文章の読み書きを行わないため慣れるために本格的な試験勉強を始める前の期間は、読書などをして、文章の読み書きを訓練しました。

学科試験は、繰り返し過去問などを勉強していれば合格はしますが実地試験は、現場での自身の経験を考えながら解答する為、誤字、脱字の注意や、慣れない漢字の読み書きを練習しておけば合格できる感触でした。

◎資格取得に伴うこれからの建設業務に対する意気込み又は抱負は

今回、資格取得にあたり、勉強した数々の内容を、今後の土木工事業務に活かして一級土木施工管理技士として恥ずかしく無いよう、頑張っていきたいと思っております。

今回の勉強にあたり、読書等を行ったように、資格取得の試験とは違うかもしれませんが事前に準備を怠らないようにすれば、様々な現場条件のある土木工事にも対応できると考え、努力していきたいと思っております。

◎資格取得に伴うこれからの建設業務に対する意気込み又は抱負は

一級土木施工管理技士の試験に合格できた事は、非常に喜ばしいことでした。しかし、ただ資格を得ただけで満足してしまつてはこれからの業務にさらに力を入れることが出来なくなってしまうと思ひます。

むしろ一級土木施工管理技士の資格取得を始まりの一步と考え、これからの業務

◇経営講習会(青梅商工会議所建設業部会共催)お知らせ◇

開催日 平成30年2月21日(水)
午後1時から午後3時
会場 西多摩建設業協同組合 3階大会議室
テーマ 人材を最大限に活かす社員育成術
講師 打尾 貞治 先生(中小企業診断士)
定員 60名(先着順)

《講習の概要》

建設業界では、東京オリンピック関連で多くの人手が首都圏に集まることで地方都市の人手不足がますます深刻な状況にあると危惧されます。

今まさに、地方の建設業は本気で人材の維持と確保を推し進めなければなりません。そして、顧客に「あの会社なら」と思わせる対応力やコミュニケーション方法を常日頃、社員に指導する必要があります。社員を定着させながら、今いる社員たちで顧客に選んでもらえる企業になり、利益を効率的に上げるために欠かさないのは、社員教育への本気の取組なのです。

この講習では、経営者がどのように社員と関わるのか、社員教育はどのように行えばよいのか、具体的ステップを、平易な言葉の解説により、わかりやすく説明します。

《主な項目》

1. 建設業に人が定着しないのには理由がある
2. 経営者が行うしかけとは
3. 求職者が求める企業の姿勢
4. 必ず教えなければならない社員への指導内容とは
5. 社員を巻き込んでやる気を与える方策とは
6. 社員へのフィードバックが重要
7. 儲けを生み出す人事・教育プログラム

1 月 事 業 報 告

- 15日 西建・森林・西多摩8市町村への年始訪問
- 12日 広報委員会 282号編集発行
- 19日 総務委員会
- 23日 事業委員会
- 24日 理事会
- 24日 新年懇親会 青梅市福祉センター ふよう

2 月 事 業 計 画

- 7日 東京都建設局訓練実施に伴う、『東京湾北部を震源とする大規模地震(マグニチュード7.3、震度6弱以上)が午前7時発生との想定に基づき、(西建職員参集の初動訓練)実施に併せて、道路啓開協定業者全員参加。(西多摩管内全71路線 点検報告訓練実施)参加
- 8日 三多摩建設連合会30年新年懇親会(立川市内)
- 9日 広報委員会 283号編集発行
- 15日 事業委員会
- 19日 総務委員会
- 21日 理事会

《 青梅商工会議所合同経営講習会開催 》

東日本建設業保証(株)協賛にて開催

日時 2月21日(水) 13時～

テーマ 人材を最大限に活かす社員育成術
～人材の確保と能力発揮の処方箋～

《主な項目》 上記お知らせ掲載参照

講師 打尾 貞治 先生(中小企業診断士)

2月下旬から3月初旬(災害対策安全委員会)

現場安全パトロール実施予定

安全パトロール対象現場確認

にも力を尽くしていきたくないと考えております。

上記の二名は今回資格取得にあたり、日建学院(青梅校)に通い、学習しました。

日建学院は建設業、不動産業において、資格取得のサポートを行っております。

一級土木施工管理技士の学習内容については、学科試験の合格、その後の実地試験の合格にむけて、過去の出題傾向から想定される内容を微細にわたり、分かり易くテキスト化して講義を行うほか、実地試験となる記述式の解答においても、難しい文書の言い回し方法や、模範的な解答例を教示するため、合格率の高い学院となっております。

職員の方も生徒一人ひとりに親身になり、資格取得に向け、応援して下さいます。

また、資格取得にあたり配布される教科書は、様々な規格・基準や法規などが細かく記載されているため、卒業後の職務で、自身の記憶があまりいかなものなどの再確認にも利用でき、資格取得のみならず、建設業界においても多様な貢献をされている資格取得予備校です。

広報委員会

建設業年度末労働災害防止強調月間実施

月間 平成30年3月1日～3月31日

主催 建設業労働災害防止協会

趣旨・目的

年度末は、公共工事等多くの工事が完工時期を迎えて繁忙期となり、また、工事関係者や各職種の出入りも多く、注意力が低下しやすい時期である。当協会は、会員とともにこの時期の建設現場の安全衛生管理を徹底することを目的に、「建設業年度末労働災害防止強調月間」を展開する。経営トップ、建設現場の管理監督者等の関係者は、一層の安全衛生水準の向上を目指し、店社と作業所との緊密な連携のもと一体となり労働災害防止活動を強化するものとする。

◇日建学院青梅認定校(西建協)からのご案内◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』
〈青梅校2018年度開講講座〉

- ◎1級建築施工管理技士学科コース 毎週 火・木
講義日程 2月中旬～6月上旬 18:30～
- ◎1級土木施工管理技士学科コース 毎週 火・木
講義日程 3月中旬～6月下旬 18:40～
- ◎給水装置工事主任技術者講座 毎週 火・木
講義日程 7月下旬～10月中旬 18:40～
- ◎2級土木施工管理技士学科コース 毎週 月・水
講義日程 3月中旬～6月上旬 18:30～
- ◎2級土木施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木
講義日程 6月下旬～10月中旬 18:30～
- ◎宅地建物取引主任者本科コース 毎週 水
講義日程 3月中旬～10月中旬
- ◎2級建築施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木
講義日程 8月中旬～11月上旬

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅校を開講(9年目)致します。

会員企業の皆様からの受講問合せ(受講申込)等の連絡をお待ちしております。

*詳細説明は随時致します。

*先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先 青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川
日建立川校 担当:澤田 080-9349-3870